

平成23年雲南市議会6月定例会一般質問通告一覧表

平成23年6月8日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	16	堀江 治之 (一問一答)	1. 防災対策と防災 計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・3月11日、千年に一度とも言われる東日本大震災が発生したが、雲南市の防災対策と防災計画について伺う。 (1)東日本大震災に対しての市長の所感を伺う。 (2)雲南市防災会議条例による防災会議開催状況について伺う。 (3)雲南市地域防災計画のこれまでの改正の状況と今後改正の予定があるのか。あるとすれば、その考えについて伺う。 (4)雲南地域防災計画における津波対策の考えについて伺う。 (5)簡易放射線量測定器の配置の考えがないか伺う。 (6)公共施設の防災と耐震化計画について伺う。 (提案されている新庁舎・市立雲南病院・その他) (7)地震防災マップ策定の考えについて伺う。 (地震による揺れやすさ・地域危険度・液状化等のマップ) 	
			2. 学校教育と学校 施設改修について	<ul style="list-style-type: none"> ・国の学習指導要領改正に伴う雲南市の学校現場での問題点と対応状況。学校施設の改修について伺う。 (1)国の教育方針の大きな変更に伴う雲南市の現状と問題点・対応の概要について伺う。 	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)脱ゆとり教育に対する取り組みについて伺う。</p> <p>(3)竹島など領土問題の教科書掲載について伺う。</p> <p>(4)小学校の英語教育について伺う。</p> <p>(5)今後の小中学校耐震化計画と木次小学校の現職員室の一階フロアへの移動の考えについて伺う。</p>	
2	2	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 中心部の求心力を高め、牽引するまちづくりについて	<p>・平準化による底上げを図る一方で、地域の特性を活かしたまちづくりを進める</p> <p>(1)前提としての安心安全なまち</p> <p>①計画されている新庁舎は、河川の合流地点に近く、また、水源（伏流水）になっている所で、最近の想定以上のゲリラ豪雨などによる冠水の危険性がある。防災拠点として適地といえないのではないか。</p> <p>②高台など、より安全な所へと抜本的に検討し直すべきではないか。</p> <p>③尾原ダムの供水調節の効果が出ているが、通常の維持管理である河川内の雑木除去や、しゅんせつが不十分ではないか。</p> <p>④堤防のかさ上げなど、強化が必要ではないか。 (大門町、三代など)</p> <p>⑤中心部が冠水しない対策は万全か (特に三谷川、新田川、請川)</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 総合保健福祉計画について	<p>(2)まちのかたち</p> <p>①里方交差点改良に伴い、市道里熊本通り線を止めることは影響が大きすぎるのではないかと(A コープ、ハローワークなど)</p> <p>②国道54号拡幅のハイブリッジ付近～島根電工間はどうなっているか。</p> <p>③市営住宅は満杯で空き待ち状態。早急な公営住宅の整備が必要ではないか。</p> <p>④空き家調査が行われるが、取り壊しが必要な危険家屋はどう対応していくのか。</p> <p>⑤合併して6年半にもなるのに、未だ都市計画マスタープランができていない。あまりにも取り組みが遅いのではないかと。</p> <p>(1)特別養護老人ホームなどへの待機者が多い。早急な対策が必要だが、どう対応していくのか。</p> <p>(2)市内の福祉・介護施設に従事している人の待遇改善は図られているか。</p> <p>(3)交通弱者、買い物弱者(難民)への対策は具体的に講じられているか。</p> <p>(4)((3)に関連して)公共交通の抜本的見直しをすることだが、どのような方針か。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(5)市長の「健康長寿、生涯現役」のメッセージが弱く、読み取れないがどうか。	
3	4	高橋雅彦 (一問一答)	1. 雲南市行政組織 見直しについて	<p>・総合センターの廃止・縮小方針が出され、その理由として人件費抑制の中で、現状の144名の職員配置を続けるのは困難とのことである。現場から要員を削減することは住民サービスの低下をさせることになり、決して賛成をする立場ではないが、限られた財政の中でいかに住民サービスの質の向上を目指すか問われる方針と考えるので質問をする。</p> <p>(1)住民サービスを低下させない総合センター廃止・縮小のための対策を含めたスキームは。</p> <p>(2)一部明確になった「雲南市行政組織見直し検討委員会」の目的と委員選出の基準は。</p> <p>(3)平成32年の要員計画には雲南市立病院の要員は含まれていないが、含まれるとどうなるのか、計画があれば伺う。</p> <p>(4)限られた要員の中で、サービスを低下させず、質的向上を目指すには、雲南市全体の組織見直しとともにそれを支える職員のモチベーションの向上と生産性の向上が必要である。</p> <p>①合併後、本庁の部署数の増減について伺う。</p> <p>②住民の理解を得るためにも、本庁のスリム化が必要であるが、その改革方針はあるのか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 鳥獣被害対策について	<p>③立派な市行政運営には住民、執行部、職員、議会の協力がなければ出来ない。その意味で、それを支える職員の方々が働き甲斐があり、しかも生産性の高い仕事をこなす能力を身に付けてもらわなければならない。具体的に、市の人事施策について伺う。 また、業務改善、事務改善についてどの部署が対応しているのか。</p> <p>④内部組織は常に見直しをしないと肥大化するという定説がある。 基本的には恒常的同一業務は如何に最小限で業務が遂行できるか手段を検討し、新しい業務は担当者を明確にした中で、出来るだけ早く平準化、マニュアル化をするのが効率化の鉄則である。 このような観点から本庁内に専門スタッフの養成が必要ではないか。</p> <p>(5)いずれにしても市のコスト削減は、直接・間接的に市民の負担増になるため、削減された費用の一部を自主組織の要員体制や活動助成の充実に活用する考えはないか伺う。</p> <p>・耕作放棄地復活のための制度が充実しつつある中で、鳥獣被害も放棄地発生の原因にもなっている。 このような中で、雲南市も積極的に鳥獣被害対策に取り組まれている。 例えば、鳥獣捕獲などに当初予算がオーバーすれば補正予算を組み対応されている。 しかし、その反面、耕作者が申請する電気柵や金網等の助成については不十分と考える。</p> <p>(1)これまでの実績で上限 50%を満額助成された実績があるかどうか。また、50%を下回る理由は何か。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)50%を下回る理由は申請者が多く、現実には要望に応じられないところにある。 平成 23 年度当初予算に対し、現在どの程度の要望があるのか。また、現状で 50%満額助成が出来るのか伺う。</p> <p>(3)要望と予算の大きなギャップがあり、農業振興対策として、いずれにしてもある時点で大幅な予算増額が必要と考える、その考えはないか。</p> <p>(4)先般平成 22 年度の補正予算が可決されたが、市当局の努力により、基金費で 7 億円を超える内部留保がされているが、これを少し活用し、需要に応えることが出来ないか。</p>	
4	7	土 江 良 治 (一問一答)	1.「医療と保健の融合による健康づくり拠点施設整備事業」の優先度について	<p>(1)国難の渦中、困難な財政運営が当然予測できる不透明な中、庁舎建設、病院政策など大規模事業が控えるところでどう考えてもこの施設がトップバッターか理解しがたい。まず優先順位を決める必要があるがどうか。(アンケート、常設型住民投票制度)</p> <p>(2)収支の試算がしてあるが、利用者からの収入見込みなど、果たして適正なものなのか。当初予算を上回るうれしい誤算は少なく、見込み違いの発生事例は多い。その際、一般財源を充てることになっても当該事業を行うという覚悟があるのか。</p> <p>(3)利用されている身近な既存施設の利用者がただ単に移動した場合(限られたパイの移動)、これらの施設はどうする考えなのか。</p> <p>(4)市長は「元気を出してもらおう施設」と強調されるが、仕事場の確保がよほど元気・活気が蘇生される。フクシマ後、或いは東海・南海沖の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. JA 雲南の肥育センター縮小について	<p>巨大地震を想定し、東日本から拠点を移した企業もあるし、考えている企業もあると聞く。</p> <p>これらの企業の動向を市長がトップセールスで情報を集め、雲南市へでも来たいという感触が得られれば、その受け皿として工場団地を造成・誘致される方が仕事場確保となり人口増、税収増となりよほど元気になると考えられるがどうか。</p> <p>(1) 耕畜連携と云われ、この雲南地域は県の農産物の米と和牛については一大産地である。</p> <p>JA 雲南の肥育センター縮小について、いつ誰から、どのような形で情報を得られたのか。JA が独断で方針変更したのであれば大変な問題と考えられる。改めてこの点を伺う。</p> <p>(2) これまで旧町村として 6 肥育センターの内、仁多、頓原、吉田の肥育センターに補助裏として雲南 10 カ町村が広域負担として一般財源を投資していると聞く。</p> <p>それぞれの負担額と、閉鎖することになると、建設年度の新しいものは補助金返還が生ずることとなるが、改めてその対応策のその後は。</p> <p>(3) 因みに中央子牛市場の上場頭数の約 40%が雲南 6 カ旧町村の肥育センターで肥育されている。</p> <p>この JA の規模縮小はどこに原因があるか。</p> <p>また、この暫時撤退は農村風景（限界集落の拡大など）がどのような姿になると考えるのか。</p> <p>市として他 JA の取り組みを掌握し、今後奥出雲和牛ブランドによる畜産振興を図るため JA にどのような指導、注文をしようとしているのか。或いは雲南農業振興協議会として「県と連携し、積極的に推進</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				していくことを確認」とあるが、どのようなことが考えられるのか。 或いは飼養農家の波紋にどのように応えられるのか。	
5	18	石川幸男 (一問一答)	1. 地域防災計画について 2. 国民健康保険事業の運営について	<p>・この度の自然災害、東日本大震災の被害により、原発を含め「自分の地域は大丈夫」という“安全神話”は、今や国民の意識として、崩壊したも同然の事態である。 雲南市の「地域防災計画」の見直しをどのように考えるか、地域の自主防災の充実や、連携体制をどのように構築するのか伺う。</p> <p>(1)東日本大震災での膨大な被害、原発事故を踏まえ、地域防災対策の課題をどのように分析されているか。</p> <p>(2)雲南市「地域防災計画」の見直しは、島根原発の事故災害に備え、想定される防災対策に絞った見直しということなのか。進め方、手順の考えは。</p> <p>(3)今回の大震災を教訓として、大規模自然災害を想定した「地域防災計画」の検証見直しも急がれる。 情報伝達・道路・断水・停電・火災・避難・誘導など、様々な広範な被害に迅速な対応が求められる。地域の防災力アップが不可欠であるが、「自主防災組織」の結成状況、活動実態は。</p> <p>(4)自主防災組織の充実と、行政・各関係機関など連携体制が重要だ。どう構築していくのか。</p> <p>(1)平成23年度雲南市国民健康保険料の算定は、どのような状況にあるか。(平成22年度の決算見込み、本年般保険料算定根拠)</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 木質バイオマス エネルギーに係る 実証事業について	<p>(2)国保財政、保険料負担の将来見通しは。</p> <p>(3)国保は市町村単位で運営されているが、昨年、法改正で国は都道府県に「広域化計画」の作成を求めている。</p> <p>①県内の状況はどうか。雲南市の意向は。</p> <p>②後期高齢者医療制度の廃止と医療保険制度の見直し方針で、高齢者医療部分は国保に合流される。 市町村国保に負担増が生じないように、国保の運営主体を国・県とするよう、強く要請すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)本実証事業で、本市の熱需要施設への供給が実現することを期待するが、活用方針についての考えは。 熱源転換の付帯設備はどの程度想定されるか。</p>	
6	19	吉井 傳 (一問一答)	1. 原発事故に係る 防災対策について	<p>(1)中国電力との安全協定の確実な締結について。</p> <p>(2)防災対策の強化検討とされているが、その具体的内容は。</p> <p>(3)自治体総移動の想定も必要であり、避難先自治体との受入れ協定が重要だがどうか。</p> <p>(4)長期避難想定の中で、食料・学校の問題は。</p> <p>(5)市民への周知の方法と防災訓練の考えは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 畜産振興について	<p>(6)学校での防災学習の取り組みについて。</p> <p>(1)JA 雲南の肥育事業の縮小は、今後肥育事業の完全撤退を想定させるものだが雲南市の畜産についての考え方は。</p> <p>(2)JA 雲南の肥育事業縮小は畜産農家へどのような影響が出るのか。</p> <p>(3)奥出雲和牛のブランド名が消滅しかねない。飼育農家の意欲減退になる。方策は。</p> <p>(4)今後の畜産振興の方針と対策は。</p>	
7	13	堀 江 眞 (一問一答)	1. 尾道・松江線の 開通を控えて	<p>(1)H23 年度 吉田・掛合インターまで。H24 年度三次ジャンクションまで開通予定に変わりはないか。進捗状況を伺う</p> <p>(2)予定されている CB (チェーンベース) 及び活性化施設の運営母体は吉田・掛合を中心とした協同組合が当たると云うことでよいか</p> <p>(3)5 月 19 日に協議会に対して、昨年 8 月に行われた市長に対する要望についての回答があった。 事業費が先にありきでこれまで協議会で検討された種々の目的を達成するには程遠い回答になっている。そこで伺う。 この活性化施設の位置づけについて、雲南市はこの施設をどのように考え、活用しようとしているのか、基本的な考え方は。</p> <p>(4)施設の大きな役割の一つ、情報発信について市としてどのような施設を考えているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市道の行き止まり道路解消について	<p>(5)基本施設、特にトイレについてどのように考えているか。設置数などの基本的な考え方を伺う。大型バスの立ち寄り所に耐える数が当初から必要。</p> <p>(6)今後施設を建設するに当たり、協議会との協議・打ち合わせをする窓口は庁内のどこが担当するのか</p> <p>(7)CB から乗り入れ自由となり、かなりの車の昇降が予想される。54号はもちろん、菅谷高殿はじめ吉田町内から314号、尾原ダム 湯村温泉、清嵐荘などなど系統立てた案内看板が必要と思うが、検討されているか。</p> <p>(8)名湯・湯村温泉は重要なポイントになると思うが、国民宿舎清嵐荘の改修について考えを伺う。</p> <p>(1)先般、周藤強議員から質問があったところだが、その後進捗は見られるか。</p> <p>(2)行き止まり道路は一般的に狭小、未改良道路が多いと思われる。一般論として伺う。 行き止まり道路の災害危険個所について、いざ実際に崩落、又は崩土があった時には地区は孤立する。 災害が発生しないとダメではなく 未然に防止するための工事を実施する必要があると思うが考えを伺う。 併せて 重ねて 行き止まり道路の解消に対する早急の検討を要望する。考えを伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
8	9	加藤 欽也 (一問一答)	1. 東日本大震災について 2. 原発について 3. 今後の防災対策について	(1)市長の所見を伺う。 (1)30km 圏内に 3 万人強の市民が住居を有するが市長の所見を伺う。 (2)想定外がおきたら避難場所は。 (3)放射線測定器 (ガイガーカウンター) は市所有のものはあるのか。 (4)今後、総合センターや教育機関等に簡易の測定器の設置の予定は。 (5)総合センターの前に常時設置しては。 (1)各地域で様々な想定外の災害が発生しているが防災対策の変更、改善点は。 (2)市内の河川は 40 年代に改修された箇所が沢山あるが点検改修は。 (3)近年ゲリラ豪雨が発生しているが、市内の主要河川はどのくらいの雨量に耐えられるのか。シミュレーションはあるのか。また、庁舎候補地は大丈夫か。 (4)地すべり地域等の点検は。 (5)震災により福島県藤沼ダム (アースダム) が決壊し 8 名の方が犠牲になったが、市内のため池・つつみ等の対策、調査は。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(6)通行止めの告知の方法は（特に国道）</p> <p>(7)大きな施設等での天井の落下が問題視されているが対策は。（避難所に指定されているところがあると思うが）</p>	
9	17	光 谷 由 紀 子 (一問一答)	1. 島根原発とエネルギー政策について	<p>(1)福島原発事故で「原発の安全神話」は崩れた。原発についての所見を伺う。</p> <p>(2)中国電力は 511 箇所の点検漏れや活断層の訂正等があり、市民から「信用できない」「不安」との声が多く出てきている。市民の安心安全をどう考えているのか。</p> <p>(3)1号機は37年経過し老朽化している。2号機はプルサーマル計画をしている。プルサーマル計画の中止を求めよ。 3号機は浜岡原発と同じ型である。島根原発は安全と思っているのか。</p> <p>(4)政府は1月に島根原発付近で30年以内に震度6強以上の地震が起きる可能性は0.0%とした。福島も0.0%だったが大震災となった。最悪の事態を想定し対策をすべきではないか。</p> <p>(5)半径20km～30km圏内に位置する雲南市である。市民の安全・生命・財産を守ることを最優先し、原発からの撤退を強く求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(6)自然・再生可能なエネルギーへの計画的転換を求めるべきと考えるがどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 地域防災計画の見直しについて	(1)原子力防災対策の見直しについて、「防災指針」の範囲を国際原子力機関 (IAEA) が示す半径 5km~30km 圏に見直すよう国に求め、市独自の計画見直しも図るべきではないか。 (2)震災編についても、今回、職員派遣がなされているが避難所や対策等についても見直しが必要ではないか。	
			3. 市政懇談会の開催と重要施策について	(1)市内 6 箇所での開催にされた理由は。 (2)今年は「新庁舎建設」「総合センターの廃止・縮小について」「医療と保健の融合による健康づくり拠点整備」の重要施策について市民と対話を行うとされているが、市民の参加と声が制限されるのではないか。	
			4. 投票区の削減による結果について	(1)前回の県知事選・県議選と比べ、投票率の結果はどうか。 (2)大東地区は投票所が 1 箇所であり、市民から苦情が出ている。投票所削減に問題点はなかったのか。 (3)市民の投票権、政治参加を奪ったのではないか。今後検証し、見直すべきではないか。	
			5. 教職員の勤務時間の適正化についての県教委通知の取り組みは。	(1)教職員の労働安全衛生対策の徹底について。 (2)勤務時間の適正化に向けて各学校の取り組みの推進について	
10	14	村尾晴子 (一問一答)	1. 東日本大震災を教訓として	(1)防災教育をすべきと考えるが。 (2)被災者支援システムの導入を推進すべきだ。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 病院問題について	(1)雲南市立病院がスタートして2ヶ月が経過したが、順調に遂行されているのか。 (2)職員の方は適所で能力を発揮されているのか。 (3)駐車場は十分にあるのか。	
11	21	板持達夫 (一括)	1. 三大教育者の活用について 2. 観光行政について	(1)永井隆博士、加藤歆一郎先生、上代タノ先生。 雲南の生んだ教育者の遺徳を後世に伝えるには学校教育の中で生徒・児童に平和教育・社会教育・産業教育・女子教育等、三大教育者の思想・実践について学ぶ機会をカリキュラム化をし、伝えることが大切ではないか。 教育委員会で検討されていると聞くが、その具体的方策は。 (1)吉田 PA (パーキングエリア) に観光案内所、物品販売所の施設が計画されているが、検討内容と実現に向けた取り組み状況は。 観光でお客さんを呼んでも、お金を落とすところがない状態だ。吉田 PA の充実施設と木次道の駅の再活性化で高速道開通後の観光客の受け皿づくりに観光行政指導を高めるべきではないか。	
12	10	細田実 (一問一答)	1. 防災対策について	(1)原子力事故と防災対策について。 議会は特別委員会を設け原発問題について調査を行っていくが、市長の考えを問う。 ①福島第一原発の事故は原子力発電に対する「安全神話」を崩壊させたと考えるが市長の認識はどうか。 ②市長はいち早く安全協定の締結を中国電力に求めたが市民を原発事故から守る今後の考えを問う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 医療対策について	<p>③広域での安全協定との考えが報道されたが、その考えはいかなるものか。</p> <p>④中国電力の原発に対する情報公開が求められると考えるがどうか。</p> <p>⑤エネルギー政策の転換が求められると思うがどう考えるか。</p> <p>(2)危機管理室を設けたがその役割を問う。</p> <p>①目的と取り組みは</p> <p>②東日本大震災支援を今後どう続けるか。</p> <p>③市民への原発防災その他、防災広報に力を入れるべきではないか。</p> <p>(1)雲南病院の市立化に伴う課題について</p> <p>①市立化後の運営については検討中の課題も多いと思うが、地域の現状からの診療体制はいかにあるべきか。また、それに対する取り組み課題は何か。</p> <p>②一次、二次、三次医療の連携システムを構築しなければならないと思うが現在の検討状況を問う。</p>	
13	20	深 田 徳 夫 (一問一答)	1. 東北震災後、雲南市内の景気の動向について	<p>(1)商工会又は企業等との連絡会など開催し、企業の景気状況など把握をしているか。</p> <p>また、震災後の雲南市の状況把握方法及び、最近の企業の動向を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 第三セクター木次道の駅の運営について</p> <p>3. 親切丁寧、迅速の理念について</p>	<p>(2)震災後、特に4月には自動車関係企業に休業もあった。5月から回復基調と伺ったがほかの企業は。</p> <p>(3)イベント等の縮小や中止により、商業等に影響があると聞く。経済も疲弊し、若干の転換が必要と思うが。</p> <p>(4)震災後、企業の立地移動などあるようだが、企業誘致のため都市圏への駐在の考えは。この際、企業誘致のスペシャリストを養成すべきではないか。</p> <p>(5)公共事業を担ってきた企業も、公共事業等の減少で経営が苦しいと聞く。早期発注が必要と考えるが、その状況は。 また、旧町から引き継いだ継続事業から新たな雲南市ビジョンの新規計画が必要ではないか。</p> <p>(1)所信表明で、5月の株主総会で解散の意向が提起されたようだが、いつをもって解散なのか。</p> <p>(2)雲南市の中心部への入り口で、何としても閉鎖されてはならず、経営改善により建て直しを考えなければならない。51%の株主としての責任は。</p> <p>(1)選挙入場券の未配達について、市内に何箇所もあったか。</p> <p>(2)その原因は何か。再発防止は。</p> <p>(3)事業計画の取り組みに市民任せでは成り立たない。市民の立場に立った目線で積極的に支援することが必要ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 古事記 1300 年イ ベントについて	<p>(4)親切丁寧、迅速の理念と現実の事務決裁は適正に行われているか。</p> <p>(5)職員の公務員としての職責、住民サービス等の職員研修はなされているか。</p> <p>(1)県の大型観光キャンペーンに連動して、雲南市のヤマタノオロチ伝説ツアーやマラソン大会の実施などの素案が提示され検討されていると報道されていたが、その後検討はどこでされているか。また、内定している事業があれば伺いたい。</p> <p>(2)いろいろな検討委員会が立ち上げられているが、これこそ市民を巻き込んだ議論と企画が必要と思うがどうか。</p>	
			5. 加茂町教育振興 会資金の貸付につ いて	<p>(1)加茂町教育振興会資金の貸付の現在の状況を伺う。</p> <p>(2)今年度から貸付を中止されたが、何故取り止めたか、理由は何か。</p> <p>(3)教育委員会は廃止についてどのように関わってきたか。</p> <p>(4)不況時にこれでよいのか。教育資金にと寄附をされた方の善意はどうなるのか。</p> <p>(5)この制度は加茂だけのようだが、廃止の前に雲南市として拡大し、勉学の意欲のある子どもを育てるべきでは</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
14	8	福島光浩	1. 協働のまちづくりへ	<p>(1)協働のまちづくりの理念の元、市民活動活性化のために大きな役割を果たした地域振興補助金。その成果をどのように評価しているか。</p> <p>(2)課題についてどのようにとらえているのか。</p> <p>(3)市民活動の活性化にとって「情報発信」が大きなカギを握っている。市の明確な指針をもって情報発信を行うべきであり、同時に各団体の情報発信力を向上させる策が必要であると考え。今後の取り組みについて問う。</p> <p>(4)市民が主役のまちづくりを推進するためにも、地域への一括交付金化の色合いを濃くしていくべきだと考える。24年度以降の新たな制度はどのようなものになるのか。また制度設計へのプロセスは。</p> <p>(5)団体に事業の継続性が求められる中で、コミュニティビジネスの概念が持ち込まれてきたが今一度整理が必要だと考える。住民自主組織、市民団体に求めるコミュニティビジネス(CB)とはどういったものなのか。</p> <p>(6)持続可能な地域(雲南)づくりにむけてCBは必要な何かであると考え、その地域事情は様々でありオンリーワンの成功事例しか成立しないし、現在成功事例とされているモデルも日々その形を進化させている。専門的なノウハウ、スキルが必要とされるが、どういった形で支援していくのか。</p> <p>(7)協働のまちづくりへ向けた体制整備として地域自主組織が立ち上がり、交流センター化が図られ1年が経過した。どの様に検証しているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 寄付による政策 選択条例について	<p>(1)市民、出身者、また雲南ファンへの制度理解・利用促進のために行ってきた取り組み、またその評価について問う。</p> <p>(2)これまでの寄付の状況（件数、政策メニューの選択数、寄付額、地域別等の推移から）をどの様にとらえているか。</p> <p>(3)経過・経緯、また他の自治体の方策と成果をみると、新たなアクションが必要だと考える。今後この制度を市政運営の中でどう位置づけて、どの様な取り組みをしていくのか。</p> <p>(4)具体的な取り組みについて提案をする。</p> <p>①市民の理解を図るため、ケーブルテレビで制度理解を図るための番組を放送。</p> <p>②出身者へのアピールとして、帰省者が増えるタイミングでケーブルテレビを利用し番組を放送。また、パンフレットの各戸配布。</p> <p>③寄付者の声、寄付金を利用して行った事業の様子、事業利用者・享受者の声などを、動画で発信・番組化。</p> <p>④ふるさと会員の皆さん、また制度利用者を「幸運隊員」として任命し、名刺を配布。同時に観光親善大使としての役割も担っていただき、情報発信をしてもらう。</p> <p>⑤事業者に協力をいただき、雲南の幸を生かした「おもてなし」の拡充を図る。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 学校統廃合と地 域づくり	<p>⑥利便性向上のため、クレジット決済の導入。</p> <p>それぞれについて、実現の可能性を問う。</p> <p>(1)適正規模適正配置実施計画の進捗状況を問う。</p> <p>(2)中学校について前期計画の中でじっくり検討していくとの議会答弁があつているが、これまでの取り組みと、検討状況、スケジュールについて問う。</p> <p>(3)吉田中学校に関して早急な検討が必要であると考え、教育的な観点からその機能は十分に果たせるのか。</p> <p>(4)部活動支援について、方向性を示すべきと考えるがこれまでの対応と今後の取り組みを問う。</p> <p>(5)統合後の学校と地域の関わりについて検証が必要であると意見してきた。検証結果を問う。</p> <p>(6)地域づくりの大きな核となる学校再編には、地域づくりの観点が求められるため執行部の積極的な関与が必要である。これまでどういう関わり方をされてきたのか、また今後の方針について問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
15	1	佐藤隆司	<p>1. 新エネルギーについて</p> <p>2. 5月11日の大雨の検証について</p> <p>3. 国道54号三刀屋拡幅工事に伴う里方地域の市道改良について</p> <p>4. 中山古墳について</p>	<p>(1)改めて市の自然エネルギー(太陽光発電・バイオマスなど)に取り組まれる方針について伺う。</p> <p>(1)本庁と総合センターとの連携は図られていたか。</p> <p>(2)尾原ダムの治水効果は。</p> <p>(3)三刀屋川の支流三谷川樋門に強制ポンプの配備の必要性について伺う。</p> <p>(1)里方地内の市道の中長期的計画を早急に立てる必要があるが今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1)中山古墳の重要性とその評価について伺う。</p> <p>(2)古墳調査が進まない理由について伺う。</p> <p>(3)現在ある古墳が地域活性(まちづくり)に果たす役割を伺う。</p> <p>(4)工業団地が今日あるのは「先見の明」であったと思うが、これから将来の更なる発展のための開発も必要でありその英断は今ではないか。</p>	